

林業の労働災害発生状況と 労働安全確保に向けた留意事項について

林野庁

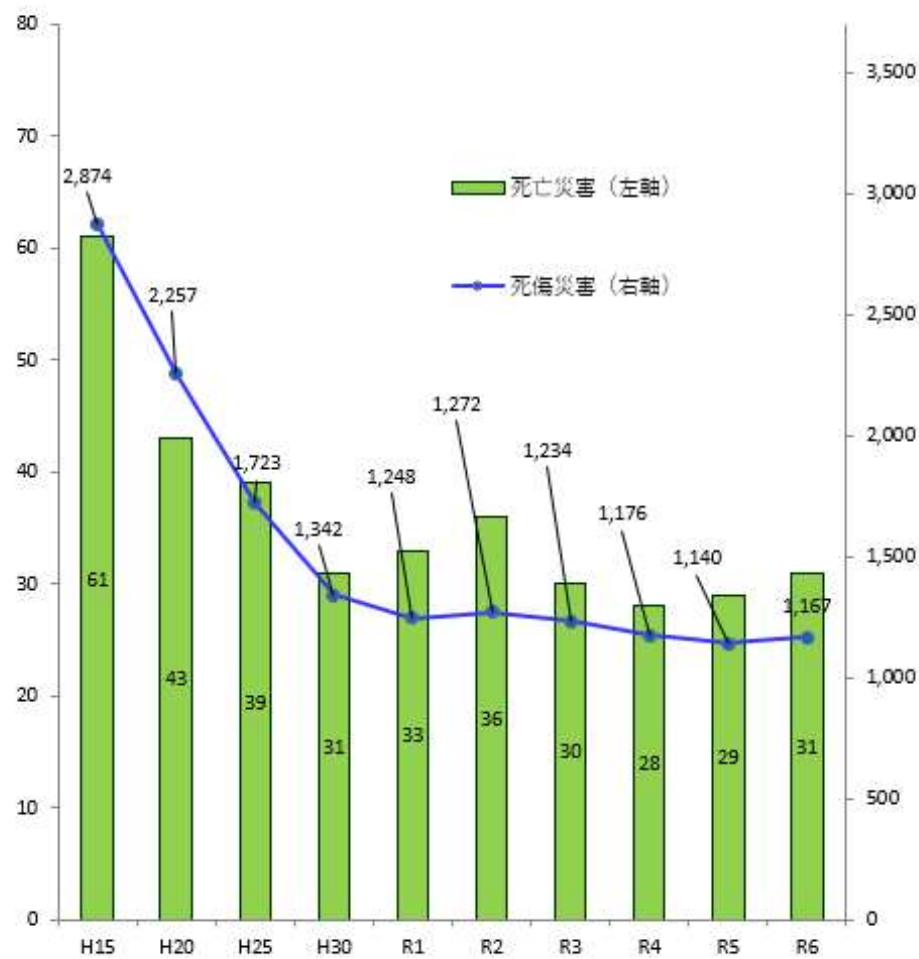
経営課

林業労働・経営対策室

林業における労働災害の発生状況

- 労働災害は長期的に減少傾向（平成15年との比較で死傷数は約4割の水準まで減少、死亡数は半減）
- 全産業平均と比較し、死傷年千人率は約10倍、労災保険率は約12倍

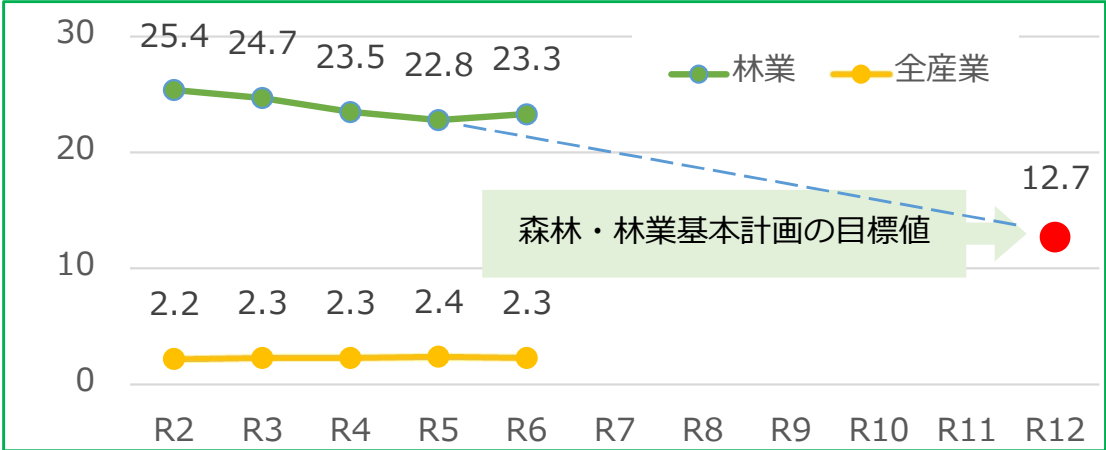
林業労働災害の推移



業種別の死傷年千人率と労災保険率

業 種	死傷年千人率 (R6) : %	労災保険率 (R6.4~) : %
全産業平均	2.3	4.4
製造業平均	2.7	6.0
(木材・木製品製造業)	11.2	13.0
建設業	4.2	15.0
運輸業平均	7.0	4.0
(陸上貨物運送事業)	9.1	8.5
林 業	23.3	52.0
農 業	5.6	13.0
漁 業	12.7	13.0~37.0

近年の死傷年千人率の推移



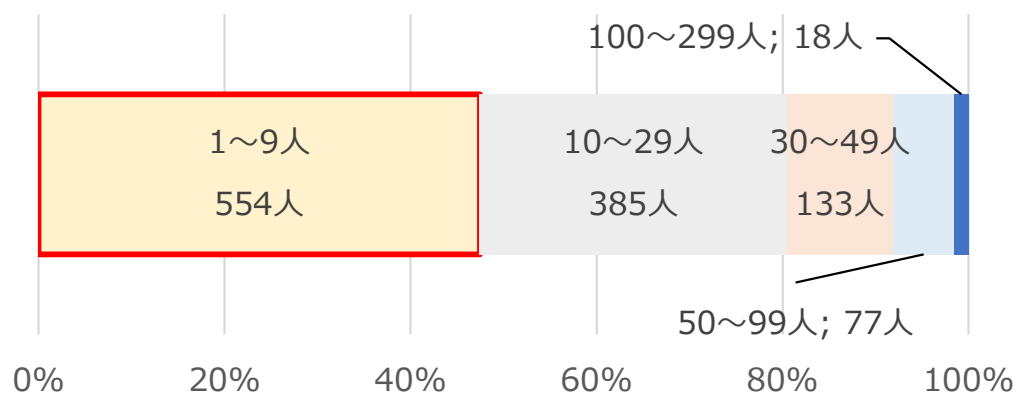
林業における労働災害の発生状況（R 6 死傷災害）

- 主な事故の型別では、「激突され」が最も多く、次いで「切れ・こすれ」、「飛来・落下」の順
- 「激突され」及び「墜落・転落」は重大な災害につながるおそれ強い

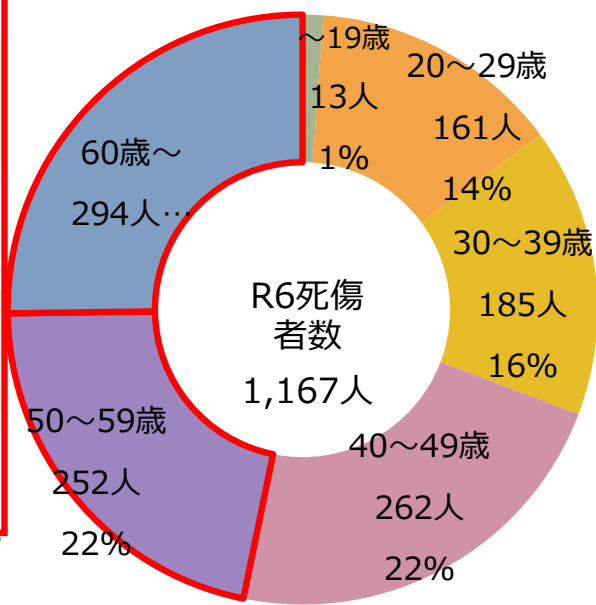
主な事故の型別

	R2	R3	R4	R5	R6
死傷災害 (うち死亡災害)	1,272 (36)	1,234 (30)	1,176 (28)	1,140 (29)	1,167 (31)
激突され	326 (14)	284 (15)	274 (16)	242 (12)	252 (17)
切れ・こすれ	233 (1)	239 (-)	189 (-)	198 (-)	201 (-)
飛来・落下	185 (2)	170 (4)	172 (2)	164 (1)	183 (3)
転倒	132 (1)	139 (2)	151 (1)	146 (2)	126 (1)
墜落・転落	115 (9)	156 (5)	138 (5)	140 (9)	156 (2)
はさまれ・ 巻き込まれ	72 (3)	73 (1)	75 (1)	61 (1)	74 (2)
崩壊・倒壊	39 (5)	34 (1)	39 (3)	32 (2)	36 (4)

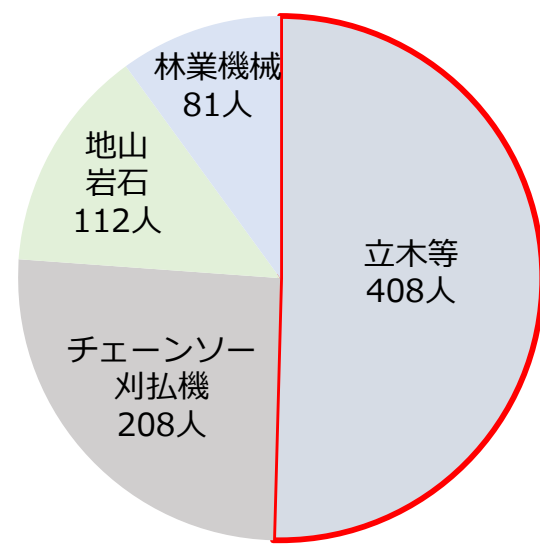
経営規模別



年齢層別

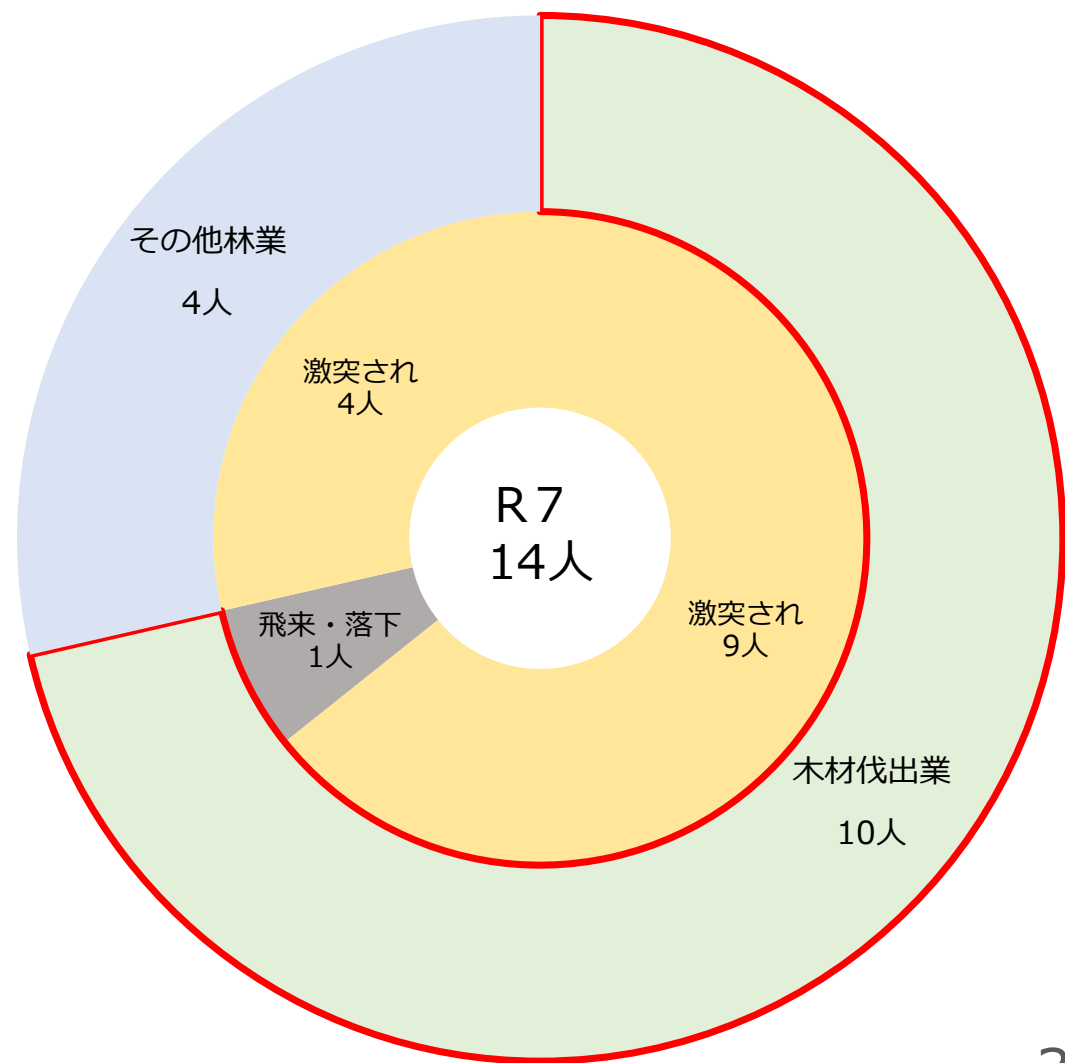
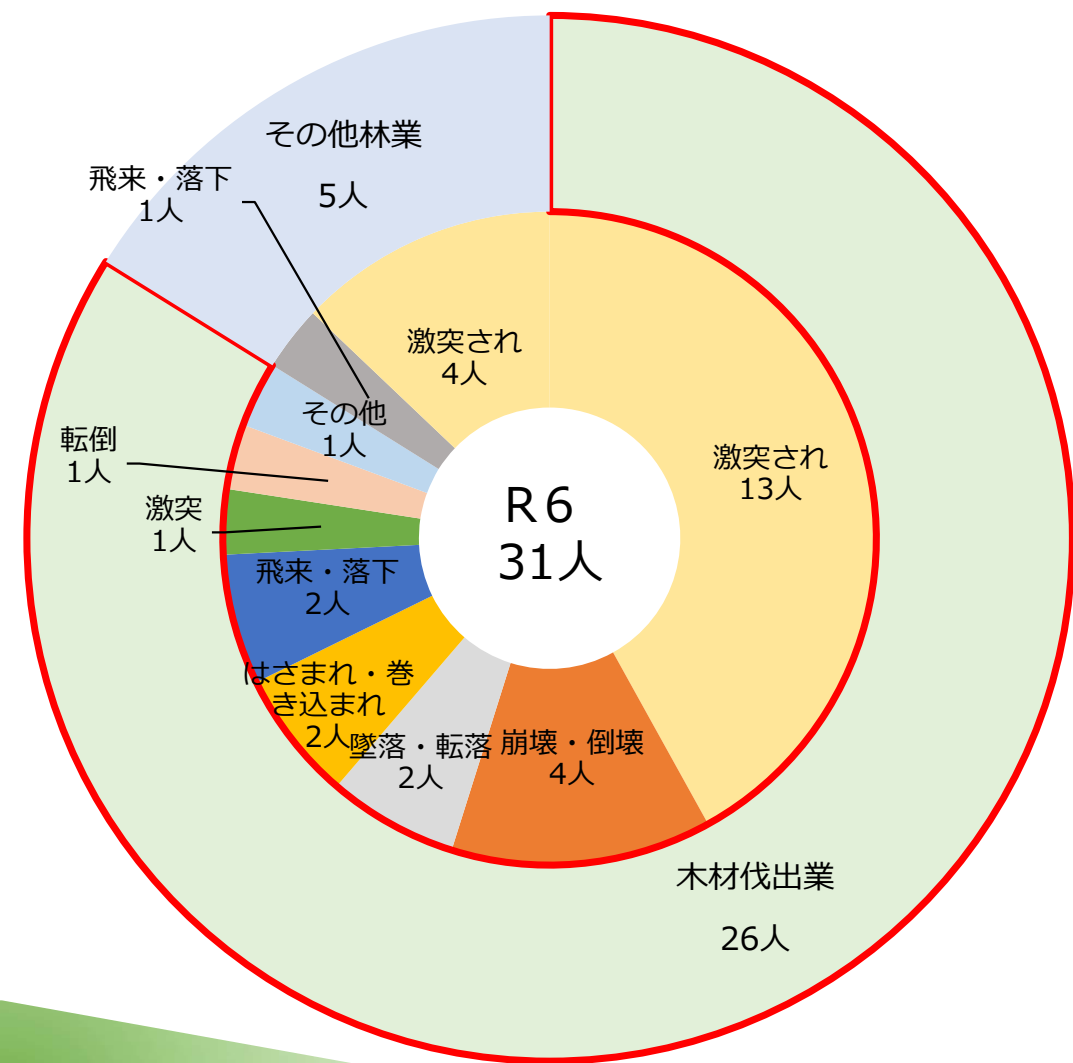


主な起因物別



林業における労働災害の発生状況（R6・R7死亡災害）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R 6	2	1	5	2	1	3	3	2	0	4	6	2	31
R 7	4	3	2	3	0	0	2						14



林業における労働災害の発生状況（R 6・R 7 死亡災害）

【令和6年】

No.	月	都道府県	発生状況
1	1	宮崎県	伐倒作業中、伐倒木により崩れ落ちた岩が激突した
2	〃	北海道	集材作業中、巻き上げた材で割れたガラスを取り除く際に足が操作レバーに触れ、ブームのシリンダーに挟まれた
3	2	宮城県	伐倒作業中、方向規制のためウインチ操作していた被災者に伐倒木が激突
4	3	静岡県	伐倒作業中、伐倒木が当たり跳ね上がった伐倒済みの材が激突
5	〃	兵庫県	伐倒作業中、予定外の方向に倒れた材に激突された
6	〃	宮城県	伐倒作業中、裂け上がった伐倒木から落下した材に激突された
7	〃	三重県	架線集材作業中、荷掛け作業中に倒れている状態で発見された
8	〃	宮城県	伐倒作業中、作業状況撮影中の被災者に伐倒木が激突
9	4	徳島県	集材作業中、フェラーバンチャで伐倒木を集材していたところ、他の伐倒木が滑り落ちて運転席防護柵を突き破り激突した
10	〃	宮崎県	伐倒作業中、ヒノキ立木が倒れ下敷きになった
11	5	鹿児島県	作業現場に向かって県道を走行中、車両が横転し炎上した
12	6	石川県	伐倒作業中、つるがらみの伐倒木の幹が裂け激突した
13	〃	富山県	伐倒作業中、退避中に切り株に当たってはねた伐倒木が激突した
14	〃	岩手県	伐倒作業中、伐倒木の横で倒れている状態で発見された
15	7	〃	伐倒作業中、伐倒木の伐倒方向が変わり激突された
16	〃	宮城県	集材作業中、作業道からフォワードとともに転落した
17	〃	宮崎県	伐倒作業中、予定外の伐倒方向に倒れた伐倒木に激突された
18	8	岡山県	伐倒作業中、伐倒木の隣の枯損木が折れ下敷きとなった
19	〃	和歌山県	伐倒作業中、斜面下で倒れているところを発見された
20	10	和歌山県	集材作業中、搬出中の集材木に激突された
21	〃	静岡県	伐倒作業中、つるがらみの枯損木の下敷きになった

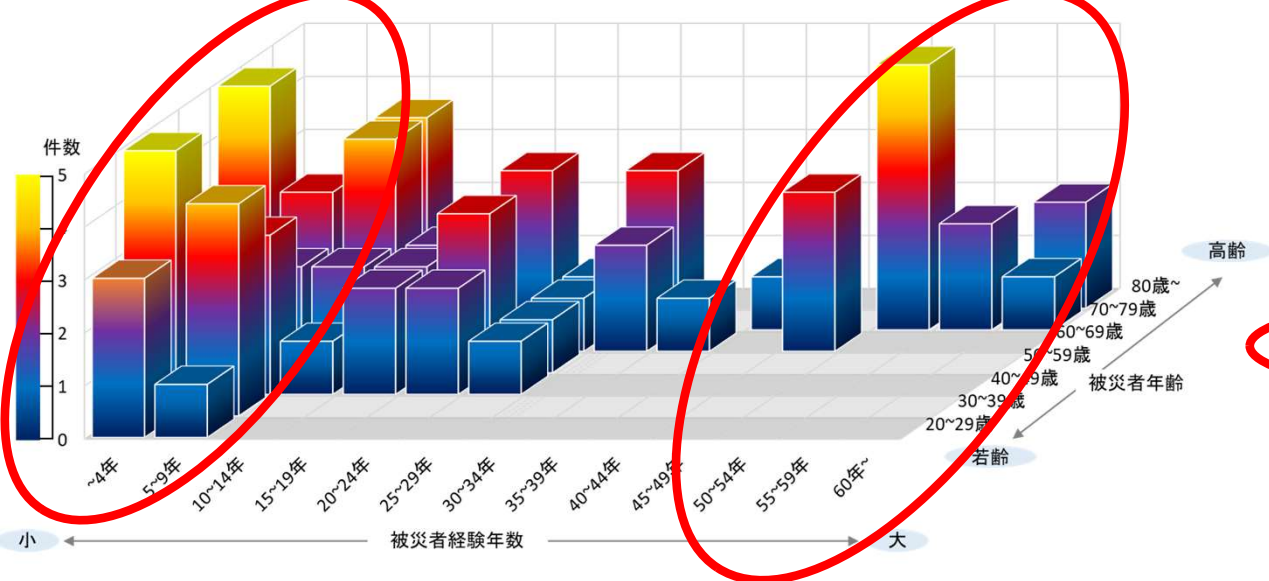
No.	月	都道府県	発生状況
22	〃	栃木県	伐倒作業中、伐倒木の方向が変わり激突された
23	〃	宮崎県	伐倒作業中、木材グラブ機の運転手が滑り落ちた伐倒木に激突された
24	11	福島県	伐倒作業中、車両系建設機械で押し倒した伐倒木に激突された
25	〃	岡山県	集材作業中、後進でカーブを曲がろうとして転倒したフォワードの下敷きになった
26	〃	栃木県	伐倒作業中、伐倒木とつるがらみした枯損木に激突された
27	〃	北海道	伐倒作業中、歩行中に放置されたかかり木が外れて激突された
28	〃	長野県	伐倒作業中、かかられている木の受け口切り中に折れ、外れたかかり木に激突された
29	〃	北海道	伐倒作業中、受け口追い口を作って放置していた立木が倒れ激突された
30	12	北海道	伐倒作業中、作業道を徒歩移動中、伐倒木に激突された
31	〃	山口県	造材作業中、上方にあった枝払い済みの材が滑落し激突した

【令和7年（5月時点）】

No.	月	都道府県	発生状況
1	1	北海道	集材作業中、グラブ機で引き上げようとした伐倒木に激突された
2	〃	長崎県	伐倒作業中、伐倒木の近くで倒れているのが発見された
3	〃	北海道	伐倒作業中、外れたかかり木に激突された
4	〃	山口県	伐倒作業中、伐倒木に激突された
5	2	熊本県	枝打ち中、伐倒木に激突された
6	〃	群馬県	伐倒作業中、かかれた木を伐倒しようとして幹折れし、かかり木とともに落下して激突された
7	〃	北海道	伐倒作業中、伐倒木が裂けて激突した
8	3	北海道	伐倒作業中、伐倒木が突風で予定外の方向に倒れ激突された
9	〃	北海道	伐倒作業中、伐倒木がかかり木に当たった反動で跳ね激突された
10	4	鹿児島県	伐倒作業中、伐倒木とつる絡みしていた立木が倒れ激突した

林業における労働災害の発生状況（その他）

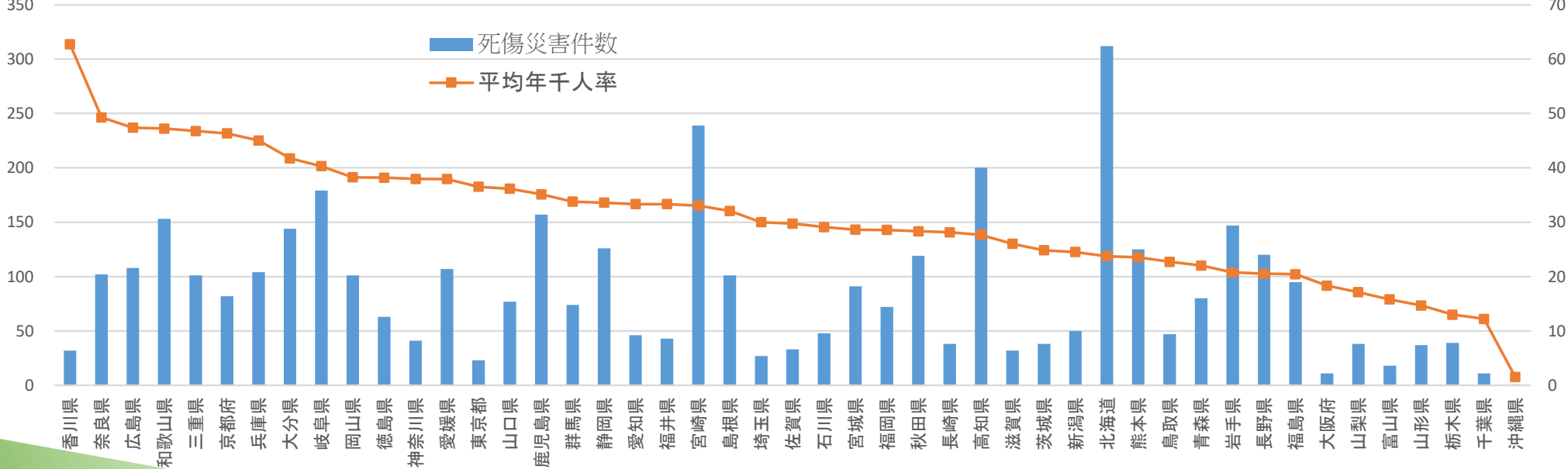
経験年数・年齢別の死亡事故



死亡災害の作業種類と誘因事象による分類

		誘 因 事 象					
		かかり木が外れ、跳ね	伐倒木と障害物が接触し	伐倒木が裂け	伐倒方向がずれ	なし	不明
業 種	チェーンソー伐倒		11	9	6	5	7
	かかり木処理	19	3				
	作業者による伐倒、伐倒補助				1		
	不明						1

都道府県別の死傷災害発生状況



林業労働安全対策の強化について～労働安全確保に向けた留意事項～

- ・ 林業労働災害の発生状況の分析結果を踏まえ、災害の発生頻度が高い項目を留意事項として整理
- ・ 経営者及び従事者それぞれの立場で求められる対策を示し、労働安全確保の取組を推進

留意事項	現状（分析結果）	対 策
①法令等遵守	関係法令や各種ガイドライン等で定められた禁止事項や遵守事項が守られていない	➤ 労災発生リスク認識、従事者に対する法令遵守の指導徹底、関係法令等に則した作業方法 等
②伐木作業等	伐木作業時の死亡災害が約7割（かかり木関係が多い）、チェーンソー作業時の切創事故が多い	➤ 作業計画書の作成、ヒヤリ・ハット事例の共有やKYT活動、適切なかかり木処理、切創保護衣や安全靴等の着用 等
③経験の浅い従事者	経験の少ない従事者に死亡災害が多い	➤ ヒヤリ・ハット事例の共有やKYT活動、熟練者による安全指導や伐倒技術研修の受講促進、指差呼称により安全な伐倒方法を確認、基本的作業方法の遵守 等
④経験豊富な従事者	経験のある従事者でも死亡災害が多い	➤ 基本的な作業方法の遵守徹底を指導、立木の状況に合った正しい追い口・受け口の作成 等
⑤高齢従事者	高齢従事者の死亡災害・傷害事故が多い	➤ 高齢従事者の身体能力等を踏まえた作業計画の作成 等
⑥小規模林業経営体	小規模な事業体での発生件数が多い	➤ 労働安全衛生法令や各種ガイドラインの遵守徹底 等
⑦地域や現場の状況	都道府県ごとに林業労働災害の発生傾向が異なる	➤ 地域における林業労働災害の発生状況等の情報収集に努め、類似災害を防止するための措置を講じる 等
⑧緊急連絡体制	災害発生を速やかに認知できない	➤ 緊急時の対応等の周知、従事者間の密な安全確認 等
⑨一人親方等	一人親方等も死亡災害が多い	➤ 労働安全衛生法令や各種ガイドライン等の定めに準じた安全対策の実施、意識的な情報収集 等

農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（共通規範）

農林水産業・食品産業の
作業安全のための規範

いのちを守る作業安全は
全てに優先する。

作業安全の確保は、経営が
継続発展するための要である。

作業安全確保のために
必要な対策を講じる。

事故発生時に備える。



作業安全規範について
詳しくはこちら

KEEP
SAFETY
FIRST.

農林水産省



「安全」こそ、何よりの収穫だ。



毎日、汗を流して働いてきた。作業はカラダに染み付いている。

それが、「慣れ」につながっていないか？

毎日、最大限の努力をして日本の食と暮らしを支えてきた。

その中で、成果を急ぐあまり大切なことを忘れていないか？

一番の収穫は、毎日を事故なく安全に終えること。

家族や仲間のため、自分のために、もう一度安全対策を見直そう。

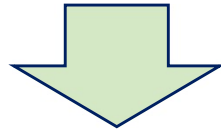


安全対策について
詳しくはこちら

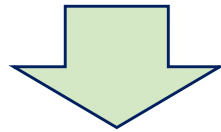
KEEP
SAFETY
FIRST.

農林水産省

- 死傷災害は長期的に減少しているが
発生率は全産業の中で突出



- 発生状況の分析結果をふまえ
災害発生頻度が高い事項を抽出
経営者、現場事業者に求められる



9つの留意事項

- それぞれの立場で労働安全対策を実施
「日ごろの心がけ」「繰り返しの対策」が重要

ご清聴ありがとうございました
今日も一日ご安全に

